

★ リレーの春高

400mRは場面を迎えるたびに進化していく、
集中力を活かしたレースであった。

持ちタイムが43秒89のチームであるから、
予選からチーム新を連発。

決勝では1秒の驚異的更新を果たして見せた。

まさにミラクルである。

堂々の埼玉の決勝常連となっていた。



マイルはいつ見ても燃える……経験者にしか解からない独特の世界だ

山崎の必死の表情が、OBの心を高揚させる。

1600mRでは惜しくも準決勝が壁となった。

新人戦ではファイナルを走っているだけに、みな堂々たる走り

4秒ものチーム記録更新を果たした。

2年生中心なので今後も大いに楽しみである。

